

支援プログラム

事業所名

アンバー浦安・アンバー新浦安

作成日

2025 年

2 月

27 日

法人理念		「身体を動かす楽しさ」「遊びを通しての成長」「達成をする喜び」を提供します			
支援方針		子どもたちに運動療育として「楽しいスポーツ」を提供していく。 やる気を引き出し、楽しい・成長・達成感を実感してもらい、心と身体の成長を促す。			
サービス提供時間	14:30~17:30	営業時間	10:00~18:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	集団運動や個別運動、自由運動の時間を通して、スモールステップで「できた」「楽しい」を増やしていき、本人のモチベーションを保っていけるように努め、生活の一部として安定して事業所に通うことができるようにサポートしていく。			
	運動・感覚	本人の段階に合わせて技の練習やトレーニングを行い、少しでもできたことを認めて自信や意欲に繋げていく。本人が興味を持った運動から、本人のペースに合わせて運動の幅を広げていく。			
	認知・行動	1回の言葉の指示や説明だけで行動できるよう、見本を見せて説明の理解を深めさせたり、簡単な指示を繰り返し行うことで指示通りに動けたという自信に繋げていく。少しでもできたことを認めて自信や意欲に繋げていく			
	言語 コミュニケーション	集団での生活の場で、自分の気持ちを伝えられるような環境作りを行っていく。集団運動の中でもグループでの話し合いの場を設け、スタッフが間に入り、お互いの意見を尊重し合えるよう話しをまとめていく。			
	人間関係 社会性	集団運動の場で主体性を持って運動に取り組めるよう、スタッフが間に入りサポートしていく。少しでも自分から関わることができた際にはそのことを認め自信に繋げていく。			
家族支援	毎回の送迎やモニタリング、サービス提供記録を通して情報共有を行う。 また、本人が頑張ったこと、できるようになったことを認め、自信や意欲に繋げる。	移行支援	学校や学童、他施設と情報共有を行い、少しの変化でもすぐに対応できるよう努める。		
地域支援・地域連携	発達センターや相談支援員の方々と情報共有を行い、支援の工夫や支援計画遂行に向けた相談を行っていく。	職員の質の向上	利用者の様子の共有や集団運動でのプログラム考案・反省を行う。 スタッフ同士が気軽に意見を言い合えるような環境作りを行う。 年に数回、会社全体で指導研修や支援研修の実施。		
主な行事等	夏休み中のお祭りイベント、冬休み中のお楽しみ会、お出かけイベント（過去：ドイツ村、アイススケート、狭山スキー場など）				